

主題名「自分を見つめて」【内容項目:A(4)個性の伸長】

教材名「感動したこと、それが僕の作品」

5年

### 教材について

(教材について)

ピカソは、世界的にも有名な画家である。小さい頃から絵を描くことが好きで、美術学校に進学したピカソは、宮廷画家になることをすすめられるほどの実力を示した。しかし、「ぼくにとって感動したことを作品にしたい」という自分の思いを大切に、宮廷画家へのさそいを断り、たくさんの作品を生み出した。個性あふれる作品は、九十一歳でなくなった後にようやく世に認められる。ピカソの人生からピカソの良いところを考えることで、自分の良さを伸ばしていこうとする思いの大切さに気付かせたい。

### この授業で育てたい児童の心

(ねらいについて)

個性とは、個人特有の性格や特徴である。人は誰でもその人ならではの良さを持っている。その良さを個性として伸ばしていくことは、将来にわたって自己実現を果たせるようにするためにも重要である。自分の良さを見つめたり、友達や家族から見た自分の良さを知ったりすることで、自己を振り返り、良さを生かして伸ばそうとする意欲や態度を育てていきたい。

### 授業の流れ

授業の展開(学習活動の流れ)

- ① 自分の良さや得意なことについて振り返り、グループで伝え合う。
- ② 「感動したこと、それが僕の作品」を読んで、感想を伝え合う。  
・ピカソの生き方を知りましたね。ピカソの良さはどんなところだと思いますか？
- ③ 「自分らしさ」を見つめる活動(自分らしさのまど)を行う。  
・友達に書いてもらったカードと家族から書いてもらったカードを、『自分らしさのまど』にはる。
- ④ 完成した『自分らしさのまど』を読んで、これからどんな自分らしさを伸ばしていきたいか感じたことを書く。